

令和 4 年度鹿児島市公共交通不便地対策事業（バスロケーションシステム導入）について

1 事業の目的等

公共交通不便地における日常生活の交通手段を確保するため運行を行っている「あいばす」に、運行状況がリアルタイムでわかるバスロケーションシステムを導入し、利便性の向上を図るもの。

※バスロケーションシステム
GPS等を用いてバスの位置情報を収集し、スマートフォン、パソコン等に情報提供するシステムのこと。

2 事業の内容

(1) 対象地域

「あいばす」を運行する全 11 地域
(吉野地域、谷山地域、喜入地域、伊敷東部地域、伊敷西部地域、谷山北部地域、谷山南部地域、吉田地域、松元地域、郡山地域、小原地域)

(2) 導入システム

- ・既に市内路線バスに導入されているバスロケーションシステムを、「あいばす」に導入する。
- ・利用にあたっては、スマートフォン等に専用のアプリ（無料）をダウンロードすることにより、「あいばす」のリアルタイムの運行状況（遅延など）のほか、時刻表や目的地までの乗換情報などの検索が可能となる。

(3) 導入時期

令和 4 年 1 2 月（予定）

(4) 広報・周知

- ・町内会への周知チラシの配布や車内等での掲示
- ・鹿児島市アプリ等の操作講習会での周知 など

(5) 効果検証

バスロケーションシステムでの検索数や利用状況等に関するアンケートを実施するなど、その効果等について検証を行う。

【参考：市内路線バスに導入されているロケーションシステムのアプリ】

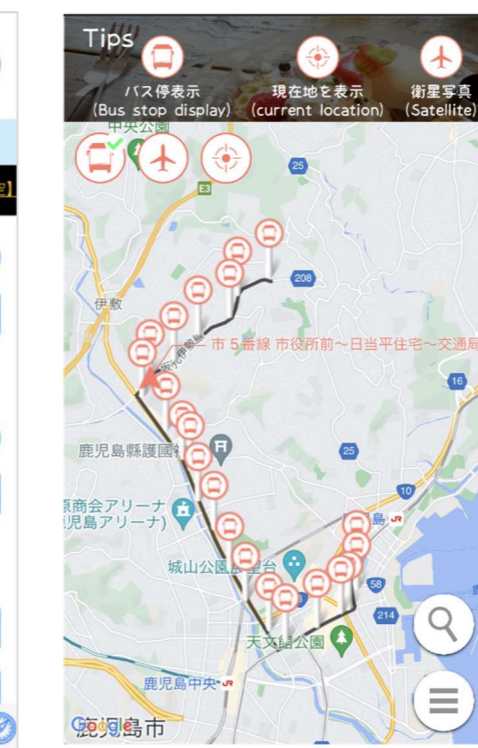
MOKUIK（もくいく）

路線や時刻表などを検索することができる。



PINA（びな）

バスの運行状況等を地図上で閲覧することができる。



楽PINA

自分がよく使う路線を登録すると楽にバスを確認できる。



【参考：市内路線バスに導入されているロケーションシステムの利用状況】

- ・もくいくアプリの検索数：約 9 万 2 千件（令和 3 年度）
- ・PINAアプリの閲覧件数：約 5 9 万 1 千件（直近 1 年間）